

## 保健師のロールモデル行動の解明

村上みち子<sup>1)</sup>，舟島なをみ<sup>2)</sup>

1) 群馬県立県民健康科学大学

2) 千葉大学

**目的：**保健師が知覚する保健師のロールモデル行動を解明し，明らかになったロールモデル行動を考察することによりその特徴を明らかにする。

**方法：**無作為抽出した全国の保健所・保健センターに就業する414名の保健師を対象に，ロールモデル行動に関する質問紙と特性調査紙を用いて，郵送法によるデータ収集を行った。

**結果：**返送された質問紙278（回収率63.0％）のうち，ロールモデルが「いる」と回答し，ロールモデル行動が明確な140名の記述をベレルソンの内容分析の手法を用いて分析した結果，【常に多角的な視野で状況を把握し，冷静かつ的確に判断・対処する】【対象者・家族の気持ちを受け止め，親身になって支援する】など，保健師のロールモデル行動を示す40カテゴリが明らかになった。スコットの式に基づくカテゴリへの一致率は，70％以上であり，カテゴリが信頼性を確保していることを示した。また，40カテゴリを考察した結果，保健師のロールモデル行動には，〔他機関・他職種と連携を図りながら地域特性に応じた保健活動を展開する〕〔信念に基づき目標達成に向け，創造的な活動を展開する〕など8つの中核的特徴があることを示唆した。

**結語：**今回明らかになった8つの特徴は，保健師の職業的発達 の指標になることを示唆した。

**キーワード：**保健師，ロールモデル行動，職業的発達

### I. 緒 言

本研究は，保健師の職業的発達を支援する基礎資料の作成を目指し，保健師が知覚する保健師のロールモデル行動の解明を試みる。保健師のロールモデル行動とは，保健師が共感し同一化を試みる自分以外の保健師の態度や行動であり，保健師としての職業活動の中に存在し，専門職者としての態度や行動の修得を促進する。このことは，個々の保健師が職業活動において示すロールモデル行動が，協働する保健師，すなわち保健師全体の専門職者としての態度や行動の修得促進に貢献することを意味する。

保健師は，保健活動を通して人々の健康と生活の質の向上を目指す。保健師の多くは，保健所・

市町村保健センターなどに勤務し，地域に生活する人々の健康上の問題に関わり，主に健康を維持・増進するために活動している。近年，社会の都市化・高齢化・国際化などにより保健師が対処すべき健康問題は幅広く，虐待問題，家庭内暴力，新興感染症，外国人の育児・健康問題など多様化・複雑化している。保健師は，行政に働く看護職として，これらの問題に第一線で対応する職種であり，高度の専門性が求められる<sup>1)</sup>。これは，保健師の職業的活動の質が，生活する人々の健康維持・増進に影響を与える可能性を示しており，保健師の専門職者として職業的発達の必要性を示唆する。

ロールモデル行動に関する文献検討の結果，看護学生が知覚する教員のロールモデル行動<sup>2)</sup>，看

護学教員が知覚する教員のロールモデル行動<sup>3)</sup>、看護師が知覚する看護師のロールモデル行動<sup>4)</sup>を解明した研究の存在を確認した。しかし、保健師の知覚に基づいて保健師の行動を解明した研究論文は存在しなかった。保健師のロールモデル行動の解明は、保健師個々人の職業的発達に向け、その成果に基づき自己の行動を改善していくことを促進する。これは、協働する保健師にロールモデル行動を観察する機会を増加させ、ひいては保健師全体の専門職者としての態度や行動の質向上に貢献する。

## II. 研究目的

保健師が知覚する保健師のロールモデル行動を解明し、明らかになったロールモデル行動を考察することによりその特徴を明らかにする。

## III. 用語の定義

### 1. 保健師のロールモデル行動

保健師のロールモデル行動 (role model behaviors)<sup>5)</sup> とは、保健師が共感し同一化を試みる自分以外の保健師の態度や行動であり、保健師としての職業活動の中に存在し、職業的発達を導く観察可能なふるまいである。

### 2. 職業的発達

職業的発達とは、職業人が職業経験を含む学習を通して職業に関する能力を向上させることをいう。

## IV. 研究方法

### 1. 研究対象

無作為に抽出した全国の保健所・保健センターに就業し、研究参加への承諾が得られた441名の保健師を本研究の対象とした。

### 2. 測定用具

測定用具には、本研究において作成した保健師のロールモデル行動に関する質問紙と保健師特性調査紙の2種類を用いた。保健師のロールモデル行動に関する質問紙は、選択回答式質問と自由回答式質問から構成されている。この質問紙は、仕事上のロールモデルの有無、ロールモデルと対象者との関係を問う2つの質問から成り、ロールモデルが「いる」と回答した対象者が「自分もあのようになりたいと思ったときにその保健師が示した態度や行動」について自由に記述する形式である。また、保健師特性調査紙は、年齢、性別のほか、勤務する施設の種類や職位など、対象者の人口統計学的特性と、ロールモデルの存在に関係すると思われる特性を問う選択式、もしくは実数記入式質問から構成されている。

2つの測定用具の内容的妥当性は、専門家会議とパイロットスタディにより確保した。

### 3. データ収集

郵送法による質問紙調査を行った。具体的には、全国の保健所・保健センターから無作為に抽出した125施設の管理責任者宛てに、往復はがきを用いて調査への協力を依頼した。そのうち、調査依頼に承諾が得られた施設の管理責任者宛てに、対象となる保健師への質問紙配布依頼状、ロールモデルに関する質問紙、保健師特性調査紙、返信用封筒、対象者への調査協力依頼状を同封し送付した。保健師への配布方法は、管理責任者へ委譲した。

### 4. 調査期間

調査期間は、2004年1月21日から2004年3月12日であった。

### 5. データ分析

分析には、Berelson, B. の内容分析の手法<sup>6)</sup>を用いた。まず、各保健師の自由回答式質問に対す

る記述全体を文脈単位、1内容を1項目として含むセンテンスを記録単位とし、個々の記録単位を意味内容の類似性に基づき分類した。次に、その記述を忠実に反映したカテゴリネームをつけた。

また、各カテゴリに包含された記録単位の出現頻度を数量化し、カテゴリごとに集計した。保健師特性の分析には、統計ソフト SPSS13.0 J for Windows を用い、記述統計値を算出した。

カテゴリの信頼性は、質的研究および保健師の実践経験をもつ研究者2名によるカテゴリへの分類の一致率を Scott, W. A. の式<sup>7)</sup>に基づき算出し、検討した。

## 6. 倫理的配慮

無記名、個別投函による質問紙の回収、コード化などによるデータ分析を通して、対象者の匿名性と自己決定の権利を保障した。

## V. 結 果

研究参加に承諾が得られた保健師に配布した441質問紙のうち、返送された質問紙は、278(回収率63.0%)であった。

### 1. ロールモデルの有無及びロールモデルとした人物

ロールモデルが「いる」と回答したものは、169名(60.8%)、「いない」と回答した者は、101名(36.3%)、無回答8名(2.9%)であった。

また、対象者がロールモデルとした人物は、職場の先輩58名(34.3%)、職場外の保健師59名(34.9%)、職場の上司26名(15.4%)、学生時代の教員9名(5.3%)、職場の同僚4名(2.4%)、不明13名(7.7%)であった。このうち、学生時代の教員をロールモデルとする者および不明は、学生など保健師とは異なる立場からロールモデル行動を知覚している可能性があった。そこで、これら22名を分析対象から除外し、職場の先輩・上司・

同僚、職場外の保健師をロールモデルとした147名のうち、自由回答式質問に回答した140名の記述を分析対象とした。

### 2. 対象者の特性

対象者140名は、不明の1名を除き、全員が女性であった。年齢は、22歳から59歳の範囲であり、平均37.4歳であった。また、所属する施設の所在地・種類、職位、卒業した看護基礎教育課程など多様であった(表1)。

### 3. 保健師のロールモデル行動

保健師140名の記述は、254記録単位、140文脈単位に分割できた。この254記録単位のうち、215記録単位は、対象者が共感し同一化を試みる保健師の行動を表していた。しかし、のこる39記録単位は、保健師のもつ特性や能力、意味不明の記述であり、ロールモデル行動を表現していなかった。そこで、保健師のロールモデル行動が表現された215記録単位を分析対象とした。

215記録単位を意味内容の類似性に基づき分類した結果、保健師が知覚する保健師のロールモデル行動を表す40カテゴリが形成された(表2)。

以下、これらのうち、記録単位数の多いものから順に結果を論述する。なお、〔 〕内は、各カテゴリを形成した記録単位数とそれが記録単位総数に占める割合を表す。

【1. 常に多角的な視野で状況を把握し、冷静かつ的確に判断・対処する】〔23記録単位(10.7%)〕：このカテゴリは、「全体的に状況を把握でき、現状で最も優先すべき問題とその解決方法についての的確に判断し実行できていた」「一つのケースに対して、多方面からみることができ、冷静に判断をくだしている」「いつどんな状況にあっても冷静な判断と対応がとれる」などの記述から形成された。

【2. 対象者・家族の気持ちを受け止め、親身

表1 対象者の特性

n = 140

項 目	項目の範囲・種類および度数			
勤務する保健所・保健センターの所在地	北海道	6名 ( 4.3%)	近 畿	17名 (12.2%)
	東 北	15名 (10.7%)	中国・四国	32名 (22.9%)
	東 京	2名 ( 1.4%)	九州・沖縄	16名 (11.4%)
	関東・甲信越	34名 (24.3%)	不 明	6名 ( 4.2%)
	東海・北陸	12名 ( 8.6%)		
施設の種類	都道府県保健所			37名 (26.4%)
	特別区・政令市保健所			1名 ( 0.7%)
	市役所・町村役場			18名 (12.9%)
	特別区・政令市保健センター			7名 ( 5.0%)
	市町村 (保健センター)			72名 (51.5%)
	市町村 (福祉部門)			2名 ( 1.4%)
	市町村 (その他)			2名 ( 1.4%)
	不 明			1名 ( 0.7%)
現在の雇用状態	常 勤	136名 (97.1%)	非常勤	4名 ( 2.9%)
職 位	課長相当職	3名 ( 2.1%)	スタッフ	103名 (73.6%)
	補佐相当職	7名 ( 5.0%)	その他	5名 ( 3.6%)
	係長相当職	20名 (14.3%)	不 明	2名 ( 1.4%)
卒業した看護基礎教育課程	看護系大学			14名 (10.0%)
	看護系短期大学 ( 3 年課程)			32名 (22.9%)
	看護系短期大学 ( 2 年課程)			2名 ( 1.4%)
	看護専門学校 ( 3 年課程)			73名 (52.2%)
	看護専門学校 ( 2 年課程)			3名 ( 2.1%)
	各種学校			16名 (11.4%)
最終学歴	大学院修士課程修了			1名 ( 0.7%)
	大学卒業			21名 (15.0%)
	短期大学卒業			36名 (25.7%)
	高等学校卒業			80名 (57.2%)
	不 明			2名 ( 1.4%)
性 別	女 性	139名 (99.3%)	不 明	1名 ( 0.7%)
婚姻状況	未 婚	43名 (30.7%)	離死別	4名 ( 2.9%)
	既 婚	93名 (66.4%)		
子どもの有無	あ り	82名 (58.6%)	な し	58名 (41.4%)

になって支援する】〔13記録単位 (6.0%)〕：このカテゴリは、「育児相談を受けるときに、母親の気持ちに添ってとても優しく対応し、相手の気持ちを十分受け止めていた」「対象者や関係者が困っていることに対して、親身になって相談にのっている」「親身になってケースのことを考える」などの記述から形成された。

【3. 地域住民のニーズ・保健師の専門性・資源の制約を考慮した事業を企画し実現へと導く】〔12記録単位 (5.6%)〕：このカテゴリは、「地域で必要とするものを把握し、事業の企画・実践に

導いている」「地域に家庭訪問に出て、住民の声を聞き、地域の健康問題として捉え、事業につなげている」「限られた時間と予算・場所・人の中で、どのように動けば、また工夫すれば、効率が良いのか、住民のためになるかを常に考えられる」などの記述から形成された。

【4. 関係機関・職種と上手く連携し、地域の問題を解決する】〔12記録単位 (5.6%)〕：このカテゴリは、「関係職種との連絡・調整が上手」「他職種との連携もスムーズにできていた」「あらゆる人脈を使って次々と信頼関係を築き、仕事をして

表2 保健師のロールモデル行動

カテゴリー	記録単位数(%)
1. 常に多角的な視野で状況を把握し、冷静かつ的確に判断・対処する	23 ( 10.7)
2. 対象者・家族の気持ちを受け止め、親身になって支援する	13 ( 6.0)
3. 地域住民のニーズ・保健師の専門性・資源の制約を考慮した事業を企画し、実現へと導く	12 ( 5.6)
4. 関係機関・職種と上手く連携し、地域の問題を解決する	12 ( 5.6)
5. 誰に対しても思いやりをもって接する	11 ( 5.1)
6. 誰に対しても自分の意見を明確に述べる	10 ( 4.7)
7. 他者の気持ちに配慮しながら地域・職場の人々と良い人間関係を形成する	10 ( 4.7)
8. 部下・後輩の成長を支援する	9 ( 4.2)
9. 将来を見据えつつ現状を把握し、目標達成に向けた確に行動する	8 ( 3.7)
10. 主体的に学習を継続し、自己を高めるために努力する	8 ( 3.7)
11. 対象者・同僚に的確に助言する	8 ( 3.7)
12. 対象者の意志を尊重し、自律的な問題解決を支援する	7 ( 3.3)
13. いつも明るく快活に振る舞う	6 ( 2.7)
14. 物事を建設的に捉え、率先して仕事に取り組む	6 ( 2.7)
15. 専門的知識・技術をもち、どのような事例にも対処する	6 ( 2.7)
16. いかなる困難に直面しても諦めず前向きに取り組む	5 ( 2.3)
17. 自己の感情をコントロールし相手に接する	5 ( 2.3)
18. 自己の信念に基づき職業活動を展開する	5 ( 2.3)
19. 最新・多様な知識を収集する	4 ( 1.9)
20. 効率よく仕事を行う	4 ( 1.9)
21. 巧みなコミュニケーション技術を用いて個人・集団を説得する	4 ( 1.9)
22. 看護職者として誇りと情熱をもち、自己の果たすべき役割を考え実行する	4 ( 1.9)
23. 対象者のみならず家族全体を一単位と捉え、これらの人々の自立を支援する	4 ( 1.9)
24. 職業活動と私的活動を両立する	3 ( 1.4)
25. 新しいアイディアを次々に発想し提案する	3 ( 1.4)
26. 相手の話を傾聴する	3 ( 1.4)
27. 問題に迅速・適切に対処する	3 ( 1.4)
28. 目標達成を目指しリーダーシップを発揮する	2 ( 0.9)
29. 地域の特性を把握し、それに応じた保健活動を展開する	2 ( 0.9)
30. 理路整然と自分の意見を述べる	2 ( 0.9)
31. 同僚の相談にいつでも応じる	2 ( 0.9)
32. 対象の個性を捉え的確に支援する	2 ( 0.9)
33. 誰に対しても公平な態度で接する	2 ( 0.9)
34. 同僚の仕事に対する意欲を喚起する	1 ( 0.5)
35. 対象者と根気強く接する	1 ( 0.5)
36. とりとめもない話で相手を和ませる	1 ( 0.5)
37. 礼儀正しく振る舞う	1 ( 0.5)
38. 問題終結後も対象者を継続的に支援する	1 ( 0.5)
39. 過去の経験を学びとし、その後の活動に活かす	1 ( 0.5)
40. 事例に存在する本質的問題を全体の問題として対処する	1 ( 0.5)
記録単位総数	215 (100.0)

いく」などの記述から形成された。

【5. 誰に対しても思いやりをもって接する】  
〔11記録単位 (5.1%)〕：このカテゴリは、「包容力があって、物腰が柔らかく、側にいてほっとできる」「いつでも、どこでも、誰でも思いやりをもって接してくれる」「人に優しい」などの記述から形成された。

【6. 誰に対しても自分の意見を明確に述べる】

〔10記録単位 (4.7%)〕：このカテゴリは、「上司にもはっきりと意見が言える」「住民に対し、いきいきと自信をもって意見・考えを述べることができる」「他関係機関・他職種にも保健師としての意見をはっきり言う」などの記述から形成された。

【7. 他者の気持ちに配慮しながら地域・職場の人々と良い人間関係を形成・維持する】〔10記録単位 (4.7%)〕：このカテゴリは、「人が気づかな

い点まで気配りができる」「相手への気遣いがよくゆき届いている」「職場の人間関係がとても良好である」などの記述から形成された。

【8. 部下・後輩の成長を支援する】〔9 記録単位 (4.2%)〕：このカテゴリは、「後輩に対し、責任は自分がとるから、まずはやってみるように指導する」「部下の抱えている問題に何とか答えようと努力してくれる」「部下が行った仕事を他人の前でほめる」などの記述から形成された。

【9. 将来を見据えつつ現状を把握し、目標達成に向けた確に行動する】〔8 記録単位 (3.7%)〕：このカテゴリは、「将来を見通した考え方を常にしていた」「常に目的意識を持ち、今何を考えなければならないのかを考えての発言をしている（会議などで）」「全体のことを考えて適切な行動をとる」などの記述から形成された。

【10. 主体的に学習を継続し、自己を高めるために努力する】〔8 記録単位 (3.7%)〕：このカテゴリは、「常に知識を高めようとする努力が伺え、自主的に勉強していた」「就職してから勉強し続けている、常に上をみている」「自分を厳しく評価し、常に自分を高めている」などの記述から形成された。

【11. 対象者・同僚に的確に助言する】〔8 記録単位 (3.7%)〕：このカテゴリは、「ケースに的確な助言をしている」「冷静に話を聞いてくれ、的確なアドバイスをしてくれた」「働きやすいようアドバイスをさりげなくくれる」などの記述から形成された。

【12. 対象者の意志を尊重し自律的な問題解決を支援する】〔7 記録単位 (3.3%)〕：このカテゴリは、「相手の気持ちに配慮し、かつ共感していきながら、きちんとアセスメントして問題解決をはかれる」「対象者と関わる時、対象者のことを尊重しながら的確な指導を行っている」「自分の考えを押しつけず、専門的な知識をもって相手の考えを引き出し、その人の意志に基づいて結論を導き

出す」などの記述から形成された。

【13. いつも明るく快活に振る舞う】〔6 記録単位 (2.8%)〕：このカテゴリは、「明るくハキハキしている」「声をかければ、笑顔ですぐに反応してくれる」「誰に言われても明るい笑顔で接する」などの記述から形成された。

【14. 物事を建設的に捉え、率先して仕事に取り組む】〔6 記録単位 (2.8%)〕：このカテゴリは、「何事にも意欲的に取り組み、向上心旺盛である」「前向きに物事を考えたり積極的に行動し、自分の経験を他職員に還元しようと努力していた」「改善したい事業内容や記録用紙などの工夫まで、直ぐ実行して残していく」などの記述から形成された。

【15. 専門的知識・技術をもち、どんな事例にも対処する】〔5 記録単位 (2.3%)〕：このカテゴリは、「どんなケースにも対応できる知識と技術を持っている」「実践が科学的根拠に基づいている」などの記述から形成された。

【16. いかなる困難に直面しても諦めず前向きに取り組む】〔5 記録単位 (2.3%)〕：このカテゴリは、「どんなに困難に思える仕事でも投げ出さず、前向きに取り組む」「困難な状況であっても諦めず、思慮深く行動され、本当の意味での優しさで本人のことを考えて関わっていた」などの記述から形成された。

【17. 自己の感情をコントロールし相手に接する】〔5 記録単位 (2.3%)〕：このカテゴリは、「自己と仕事を明確にしておき、気分次第で相手に接することがない」「人として感情が安定している」などの記述から形成された。

【18. 自己の信念に基づき職業活動を展開する】〔5 記録単位 (2.3%)〕：このカテゴリは、「信念や経験に裏付けられた考え方で仕事をしている」「自分の考えをしっかりとっていて、それを施策としていくことができる」などの記述から形成された。

【19. 最新・多様な知識を収集する】〔4 記録単位 (1.9%)〕：このカテゴリは、「知識が豊富」「新しい法律や事業も進んで勉強している」などの記述から形成された。

【20. 効率よく仕事を行う】〔4 記録単位 (1.9%)〕：このカテゴリは、「効率よく仕事をこなす」「てきぱきと仕事をこなせる」などの記述から形成された。

【21. 巧みなコミュニケーション技術を用いて個人・集団を説得する】〔4 記録単位 (1.9%)〕：このカテゴリは、「対個人, 対集団において, 相手を納得させるまで話し, その話し方も上手で気をひく話し方であった」「集団に対して, 聞く人の心を動かすような話ができる」などの記述から形成された。

【22. 看護職者として誇りと情熱をもち, 自己の果たすべき役割を考え実行する】〔4 記録単位 (1.9%)〕：このカテゴリは、「常に向上心をもち, 住民主体を核に自分が何をすべきかを探求し, 実行していく」「看護職に誇りをもって行動している」などの記述から形成された。

【23. 対象者のみならず家族全体を一単位と捉え, これらの人々の自立を支援する】〔4 記録単位 (1.9%)〕：このカテゴリは、「対象者だけでなく, 家族を全体として捉え, 適切な援助を提供している」「クライアント・家族に対して, また看護者自身として, 常に人としての自立を念頭にいた支援をしていた」などの記述から形成された。

【24. 職業活動と私的活動を両立する】〔3 記録単位 (1.4%)〕：このカテゴリは、「仕事だけでなく, 自分の楽しみももっている」「家庭でもきちんと家事・育児をしている」などの記述から形成された。

【25. 新しいアイデアを次々に発想し提案する】〔3 記録単位 (1.4%)〕：このカテゴリは、「発想がどんどん出て, アイディアを提供できる」「仕事に対してどんどん新しいアイディアや工夫をし

て, よりよくしていこうとする」などの記述から形成された。

【26. 相手の話を傾聴する】〔3 記録単位 (1.4%)〕：このカテゴリは、「人の話をしっかり聞く」「人の話を終わりまできちんと聞ける」などの記述から形成された。

【27. 問題に迅速・適切に対処する】〔3 記録単位 (1.4%)〕：このカテゴリは、「仕事をてきぱきとこなし, 問題ケースにあたったときも直ぐに適切な対応ができる」「問題として起こった事柄に対して, 直ぐに関係機関と連絡をとり, 対処できることをすぐ実行に移していき, 解決まで長引かなかった」などの記述から形成された。

【28. 目標達成を目指しリーダーシップを発揮する】〔2 記録単位 (0.9%)〕：このカテゴリは、「先の目的・目標が明確で, チームを上手く進めている」などの記述から形成された。

【29. 地域の特性を把握し, それに応じて保健活動を展開する】〔2 記録単位 (0.9%)〕：このカテゴリは、「地域の特性を十分把握して, 人として信頼され, 保健活動を展開していた」などの記述から形成された。

【30. 理路整然と自分の意見を述べる】〔2 記録単位 (0.9%)〕：このカテゴリは、「自分の意見を理路整然と話せる」などの記述から形成された。

【31. 同僚の相談にいつでも応じる】〔2 記録単位 (0.9%)〕：このカテゴリは、「相談にいつでも応じてくれる」「相談しやすい雰囲気である」という記述から形成された。

【32. 対象の個別性を捉え的確に支援する】〔2 記録単位 (0.9%)〕：このカテゴリは、「ひとつひとつ異なるケースに対し, 個別性を踏まえた支援を行っている」「同じ話を聞いてもケースの特性・問題点・ニーズを的確に捉えた上でアドバイスできる」という記述から形成された。

【33. 誰に対しても公平な態度で接する】〔2 記録単位 (0.9%)〕このカテゴリは、「誰に対しても

態度が変わらない」「公平に人に接する」という記述から形成された。

【34. 同僚の仕事に対する意欲を喚起する】〔1 記録単位 (0.5%)〕：このカテゴリは、「的確なアドバイスを与え、仕事楽しい、おもしろい、やりがいを見つける、頑張るという気分を引き出してくれる」という記述から形成された。

【35. 対象者と根気強く接する】〔1 記録単位 (0.5%)〕：このカテゴリは、「根気強くクライアントと接する」という記述から形成された。

【36. とりとめもない話で相手を和ませる】〔1 記録単位 (0.5%)〕：このカテゴリは、「とりとめもない話で相手を和ませる」という記述から形成された。

【37. 礼儀正しく振る舞う】〔1 記録単位 (0.5%)〕：このカテゴリは、「常に人に対して丁寧な対応である」という記述から形成された。

【38. 問題終結後も対象者を継続的に支援する】〔1 記録単位 (0.5%)〕：このカテゴリは、「多くのケースを抱えながらも、ひとりひとりのケース、その後の状況確認、フォローを欠かさずしている」という記述から形成された。

【39. 過去の経験を学びとし、その後の活動に活かす】〔1 記録単位 (0.5%)〕：このカテゴリは、「ひとつの相談事項がその場で解決できたとしてもそれで終わりにせず、次回同じようなことが起こった場合、また起こらないよう予防を含めた対策をとっていた」という記述から形成された。

【40. 事例に存在する本質的問題を全体の問題として対処する】〔1 記録単位 (0.5%)〕：このカテゴリは、「個別ケースから全体の問題に発展させ、他者との共有ができていた」という記述から形成された。

## VI. 考 察

本研究は、保健師が知覚する保健師のロールモデル行動を表す40カテゴリ、すなわち40ロールモ

デル行動を明らかにした。Scott, W. A.の式に基づくカテゴリへの分類の一致率は、76.2%と74.3%であり、明らかになったカテゴリが信頼性を確保していることを示した。

本研究の目的は、保健師が知覚する保健師のロールモデル行動を解明し、明らかになったロールモデル行動を考察することによりその特徴を明らかにすることである。本項においては、明らかになった40ロールモデル行動をそれぞれの行動の性質に着目し、文献と照合しながらその特徴について検討する。

まず、最初に着目したロールモデル行動は、【3. 地域住民のニーズ・保健師の専門性・資源の制約を考慮した事業を企画し実現へと導く】【4. 関係機関・職種と上手く連携し、地域の問題を解決する】【29. 地域の特性を把握し、それに応じて保健活動を展開する】【40. 事例に存在する本質的問題を全体の問題として対処する】である。

地域看護に携わる保健師は、個人・家族・集団・地域を対象に看護の立場から人々の健康への援助を展開するという役割をもち、その活動は、常に対象集団全体の健康増進・疾病予防を目指す<sup>8)</sup>。また、地域住民の健康増進・疾病予防を促進するためには、地域の実情にあわせ、効果的に保健活動を行うことが求められる。上記4ロールモデル行動のうち、【3.】【29.】は、地域の特性・制約を考慮しながら住民の健康維持・向上を目指し活動する保健師の行動を示す。また、地域保健活動は、地域に顕在する健康問題を把握するとともに、潜在する健康問題を予測し、それらを組織的に解決する必要がある<sup>9)</sup>。健康問題は、地域的な共通性をもつことも多い<sup>10)</sup>。そのため、保健師は、個別的な事例に存在する健康問題を地域全体の問題として対処する必要がある。【40.】も地域の特性にあわせ活動する保健師の行動を示している。さらに、地域住民の健康問題解決に向けた活動は、支援を



必要とする人々とその家族を中心に、保健・医療・福祉の専門職やその周囲の人々から構成されるヘルスケアチームを編成し、展開される<sup>11)</sup>。保健師の活動には、これら健康生活に関わる地域の関係機関・職種との組織的な取り組みが必要不可欠であり、【4.】は保健師が、地域住民の健康維持・向上に向け、関係機関・職種と円滑に連携・協働する行動を表す。

以上は、【3.】【4.】【29.】【40.】の中核に、〔他機関・他職種と連携を図りながら地域特性に応じた保健活動を展開する〕という共通の特徴があることを示す。

第2に着目したロールモデル行動は、【2. 対象者・家族の気持ちを受け止め、親身になって支援する】【12. 対象者の意志を尊重し自律的な問題解決を支援する】【23. 対象者のみならず家族全体を一単位と捉え、これらの人々の自立を支援する】【32. 対象の個別性を捉え的確に支援する】【35. 対象者と根気強く接する】【38. 問題終結後も対象者を継続的に支援する】である。

保健師は、人々の健康問題を生活者としての問題と捉え、その背景にある社会的問題を考慮しながら生活支援のための看護活動を展開する<sup>12)</sup>。対象者は、夫婦、親子、兄弟など生活共同集団としての家族を形成し共に生活を営んでいる。家族構成員の健康問題は、他家族員へも影響を与える。このことは、対象者の健康問題解決に向け、保健師が対象者のみならず、生活を共にする家族をも含めた関わりをもつ必要性を意味している。【23.】は、対象者のみならず、家族をも含め保健活動を展開する保健師の行動を表す。

また、保健師は、対象者自らが自己の生活を健康との関係において管理し、主体的に健康問題解決に向け取り組めるよう支援する必要がある<sup>13)</sup>。そのためには、対象者個々の生活や考え方を尊重し<sup>14)</sup>、問題解決のための対策を検討する必要がある。

しかし、対象者・家族が自らの健康問題と対峙し、実現可能な解決策を見出すためには時間を要し、その期間、保健師は忍耐強く関わる必要がある。【2.】【12.】【35.】は、対象者・家族の意志を尊重し、自律的に問題解決できるよう支援する保健師の行動を表す。

さらに、保健活動の対象者・家族の健康問題は、社会的・物理的・経済的な要因により多様な様相を呈する。また、直面している問題解決に向け、対象者・家族が行動を変化させたとしても、やがて以前親しんだ行動様式に逆戻りし<sup>15)</sup>、問題が再燃、若しくは他の問題が発生する可能性がある。

【32.】【38.】は、保健師が対象の個別性を捉え、的確に対応するとともに継続的に支援する保健師の行動を意味する。

以上は、【2.】【12.】【23.】【32.】【35.】【38.】の中核に、〔対象者・家族の意志を尊重し、自律的な問題解決を継続的に支援する〕という共通の特徴があることを示す。

第3に着目したロールモデル行動は、【9. 将来を見据えつつ現状を把握し、目標達成に向けた確に行動する】【14. 物事を建設的に捉え、率先して仕事に取り組む】【16. いかなる困難に直面しても諦めず前向きに取り組む】【18. 自己の信念に基づき職業活動を展開する】【22. 看護職者として誇りと情熱をもち、自己の果たすべき役割を考え実行する】【25. 新しいアイデアを次々に発想し提案する】である。

近年、わが国における少子・高齢化社会、国民のニーズの多様化、疾病構造の変化、住民意識の高まり、低経済成長への移行により、社会保障制度のあらゆる再構築が迫られ、保健・医療・福祉制度の見直しが進められている<sup>16)</sup>。前述したように、保健師は地域において、個人・家族・集団・地域を対象に、人々の健康増進・疾病予防を目標に活動する<sup>17)</sup>。人々が生活する社会は常に変動し

ており、保健師は、社会の変化を把握し洞察しながら、住民の健康を維持・増進するための活動を展開する必要がある。【9.】は、今後の社会の変化を見据えつつ、的確に活動する保健師の行動を示す。

また、保健活動の対象となる個人・集団の健康問題解決の過程において、物理的・経済的・地理的・制度的な多種・多様な問題がその問題解決を阻むことも多い。特に、在宅療養者を抱える家族の問題は、複合的であり、これら多くの問題を抱える家族への支援は、あせらずねばり強く取り組むことが重要である<sup>18)</sup>。【14.】【16.】【22.】は、物事を建設的に捉え、目標達成に向け根気強く活動を継続する保健師の行動を示す。さらに、これら保健師の忍耐強い活動は、看護専門職者としての信念・職業に対する誇りと情熱を基盤とする使命感によるものであり、【18.】【22.】は、これらを表す保健師の行動を意味する。加えて、保健活動の発展には、看護職自らが主体的、創造的に技術を開発する姿勢と実践力が求められる<sup>19)</sup>。人々の生活様式は多様であり、生活に密接に関わる健康問題解決のためには、柔軟な発想が求められる。

【25.】は、様々なアイデアを発想し、創造的に問題解決に取り組む保健師の行動を意味する。

以上は、【9.】【14.】【16.】【18.】【22.】【25.】の中核に、〔信念に基づき目標達成に向け創造的な活動を展開する〕という共通の特徴があることを示す。

第4に着目したロールモデル行動は、【1. 常に多角的な視野で状況を把握し、冷静かつ的確に判断・対処する】【11. 対象者・同僚に的確に助言する】【15. 専門的知識・技術をもち、どんな事例にも対処する】【20. 効率よく仕事を行う】【21. 巧みなコミュニケーション技術を用いて個人・集団を説得する】【27. 問題に迅速・適切に対処する】【28. 目標達成を目指しリーダーシップを発揮す

る】【30. 理路整然と自分の意見を述べる】である。

地域に生活する人々の健康は、次に示す4要因の影響を受ける。その4要因とは、①個人が生まれながらに持っている生物的要因、②生活習慣、③生活の背景となる社会的・経済的・物理的な環境要因、④地域の保健医療施設の状況や体制などを規定している地域保健医療システムや政策である<sup>20)</sup>。これは、保健師がその活動に際し、人々の健康を多角的な視野から概観して状況を判断する必要性を意味する。【1.】は、保健師が多角的な視野から状況を把握し、冷静・的確に問題に対処する行動を表す。

また、健康問題は人々の生活の質に影響を及ぼすため、解決に向け直ちに対処する必要がある。

【11.】【20.】【27.】は、問題に迅速・的確に対処する保健師の行動を表す。さらに、これらの複雑な問題を解決するためには、看護専門職者として高度な専門的知識・技術が求められる。【15.】【21.】

【28.】【30.】は、保健師としての高度な専門的知識・技術に加え、巧みなコミュニケーション技術、論理的な意見の主張、強いリーダーシップなど、保健師としての高度な専門性を発揮する行動を示す。

以上は、【1.】【11.】【15.】【20.】【21.】【27.】【28.】【30.】の中核に、〔専門的技能を発揮し、迅速・的確に問題に対処する〕という共通の特徴があることを示す。

第5に着目したロールモデル行動は、【5. 誰に対しても思いやりをもって接する】【6. 誰に対しても自分の意見を明確に述べる】【7. 他者の気持ちに配慮しながら地域・職場の人々と良い人間関係を形成・維持する】【13. いつも明るく快活に振る舞う】【17. 自己の感情をコントロールし相手に接する】【26. 相手の話を傾聴する】【33. 誰に対しても公平な態度で接する】【36. とりとめもない話で相手を和ませる】【37. 礼儀正しく振る舞う】

である。

個人は、対人的・集团的・社会的状況において、一般的に受容されている習慣的な行動様式を発展させて行く<sup>21)</sup>。また、このような行動様式や行動的特徴は一般的に社会性といわれ、社会性は個人が対人関係の中で生きていく方略でもある<sup>22)</sup>。さらに、成熟した社会性をもつ個人は、他者との関わりが円満であり、協調性を保ち、お互いの個性を認めながら自己の行動を調整し、情緒の安定性を保つ<sup>23,24)</sup>。【5.】【7.】【13.】【17.】【26.】【36.】の中にある他者に対する思いやり・配慮・快活・感情のコントロール・傾聴・相手を和ませる態度は、行動様式の基準となり、個人が円満な対人関係の中で生きていくために必要不可欠な要素である。これらは、【5.】【7.】【13.】【17.】【26.】【36.】が、成熟した社会性を基盤とし、他者との円満な関係を保つという特徴を示す行動であることを表す。

また、【6. 誰に対しても自分の意見を明確に述べる】【7. 他者の気持ちに配慮しながら地域・職場の人々と良い人間関係を形成・維持する】【33. 誰に対しても公平な態度で接する】【37. 礼儀正しく振る舞う】は、他者の存在を認め、相手の立場を尊重する行動である。すなわち、これも他者と円満に関わり、協調を保ちながら安定した情緒を示す行動にほかならない。

以上は、【5.】【6.】【7.】【13.】【17.】【26.】【33.】【36.】【37.】の中核に、〔成熟度の高い社会性を発揮し、他者との円満な関係性を築き保持する〕という共通の特徴があることを示す。

第6に着目したロールモデル行動は、【8. 部下・後輩の成長を支援する】【31. 同僚の相談にいつでも応じる】【34. 同僚の仕事に対する意欲を喚起する】である。

保健師は、地域保健活動において、対象者を中心に家族や他の専門家とチームを形成し活動す

る。また、保健師によるチームを編成し、人々の健康増進・疾病予防を目指し保健活動を展開する。これは、チームを構成するメンバー各々がそれぞれの機能を十分発揮することにより、チームとしての目標を達成できることを示す。上記ロールモデル行動は、目標達成に向け、チームメンバーとなる部下や後輩の成長を積極的に支援するとともに、同僚を励ます行動を示す。

以上は、【8.】【31.】【34.】の中核に、〔部下・後輩・同僚を積極的に支援する〕という共通の特徴があることを示す。

第7に着目したロールモデル行動は、【10. 主体的に学習を継続し、自己を高めるために努力する】【19. 最新・多様な知識を収集する】【39. 過去の経験を学びとし、その後の活動に活かす】である。

保健師は、地域の人々の生活と暮らしの中に深く入り込み、健康の維持・増進を図るために日常生活の方法を援助する看護職として、高度の専門性を追求していかなければならない<sup>25)</sup>。また、看護は、専門職であり、その活動の基盤には専門的知識を必要とする。専門的知識は、日々産出・刷新されており、保健師は、自己の職業活動の質を維持向上させるために、新たな知識について学習を継続する自己研鑽に努める必要がある。【10.】【19.】【39.】は、保健師が日常的に自ら学習する機会を獲得したり、学習を継続し、仕事に活用していることを示す。

以上は、【10.】【19.】【39.】の中核に、〔主体的な学習を継続し、専門職者としての発達を志向する〕という共通の特徴があることを示す。

第8に着目したロールモデル行動は、【24. 職業活動と私的活動を両立する】である。

このロールモデル行動は、保健師が職業活動と家庭生活、余暇を営む個人としての私的活動など、複数の役割を同時に果たすことを意味する。様々

な社会構造や組織の機能が発揮されるためには、個人が複数の社会構造を成立させ、これに伴う複数の役割を遂行することが必要である<sup>26)</sup>。保健師は、組織の中でも多様な役割を担うことを求められるとともに、一社会人としての役割を担うことも少なくない。【24.】は、専門職者として、一社会人複数の役割を同時に果たす保健師の行動を示す。

以上は、【24.】の中核に、〔社会人・保健師として複数の役割を果たす〕という特徴があることを示す。

Kram, K. E.<sup>27)</sup>は、ロールモデリングを職業教育の一側面に位置づけ、「人間が自己の従事する職業活動に熟達した人物の示す行動や態度を見習い、同一化することにより職業活動に関わる行動を修得しようと試みる現象」と定義した。このことは、保健師が所属する組織が、この8つの特徴を中核に据え行動する保健師から構成されたとき、それらの保健師の存在そのものが、保健師の職業的発達に貢献することを意味する。また、保健師個々は、この中核的特徴を基準とし自己評価することを通して、職業的発達の方向性を確認できる。

## Ⅶ. 結 論

1. 本研究の結果は、保健師が知覚する保健師の40ロールモデル行動を明らかにした。
2. 保健師が知覚する保健師の40ロールモデル行動は、次の8つの中核的特徴を持つことを示唆した。すなわち、〔他機関・他職種と連携を図りながら地域特性に応じた保健活動を展開する〕〔対象者・家族の意志を尊重し、自律的な問題解決を継続的に支援する〕〔信念に基づき目標達成に向け創造的な活動を展開する〕〔専門的技能を発揮し、迅速・的確に問題に対処する〕〔成熟度の高い社会性を発揮し、他者との円満な関係

性を築き保持する〕〔部下・後輩・同僚を積極的に支援する〕〔主体的な学習を継続し、専門職者としての発達を志向する〕〔社会人・保健師として複数の役割を果たす〕である。

3. 保健師は、上記8つの中核的な特徴に着目し、具体的にロールモデル行動を知覚する。

## 【引用文献】

- 1) 村嶋幸代：保健師に求められる修士レベルの教育，保健の科学，47(7)，512-518，2005。
- 2) 松田安弘ほか：看護学教員のロールモデル行動に関する研究，千葉看護学会会誌，6(2)，1-8，2000。
- 3) 村上みち子ほか：看護学教員のロールモデル行動に関する研究－ファカルティ・ディベロップメントの指標の探求－，看護研究，35(6)，35-46，2002。
- 4) 舟島なをみほか：看護師が知覚する看護師のロールモデル行動，日本看護学会誌，14(2)，40-50，2005。
- 5) 前掲書3)
- 6) Berelson, B.; 稲葉三千男訳：内容分析，みすず書房，63，1957。
- 7) Scott, W. A.: Reliability of Content analysis: The case of Nominal Scale Coding, public Opinion Quarterly, 19, 321-325, 1955。
- 8) 奥山則子ほか：標準保健師講座 地域看護学概論，医学書院，3，2002。
- 9) 前掲書8)，12
- 10) 平山朝子ほか編：公衆衛生学大系1 公衆看護総論1，日本看護協会出版会，67，1999。
- 11) 金川克子編：地域看護学総論①，メヂカルフレンド社，35，2004。
- 12) 前掲書8)，46
- 13) 中村裕美子ほか：標準保健師講座 地域看護技術，医学書院，6，2005。
- 14) 宮坂忠夫ほか：保健学講座12 健康教育論，

- メヂカルフレンド社, 22, 1999.
- 15) 久常節子ほか：地域看護学講座③ 健康教育と学習, 医学書院, 159, 1994.
- 16) 前掲書10), 20.
- 17) 前掲書8), 3.
- 18) 眞船拓子ほか：ナースのための地域看護概論, ヌーヴェルヒロカワ, 63, 2002.
- 19) 前掲書13), 5.
- 20) 前掲書8), 2.
- 21) 森岡清美編：新社会学事典, 「社会性」の項, 有斐閣, 626, 1993.
- 22) 細谷俊夫ほか編：新教育学大事典第4巻, 「社会化」の項, 有斐閣, 626, 1993.
- 23) 古畑和孝：社会性とは, 教育と医学, 37(9), 4-11, 1989.
- 24) 小此木敬吾：自我が出会う現実原則・執行原則, 教育と医学, 37(9), 42-43, 1989.
- 25) 前掲書10), 20.
- 26) 見田宗介ほか編：社会学事典, 「組織」の項, 弘文堂, 566-567, 1988.
- 27) Kram, K.E.: Mentoring at Work: Developmental Relationship in Organizational Life, Scott, Foresman and Company, 33, 1985.

## Role Model Behaviors of Public Health Nurse

Michiko murakami<sup>1)</sup>, Naomi funashima<sup>2)</sup>

1 ) Gunma Prefectural of Health Sciences

2 ) Chiba University

**Objectives :** To clarify the role model behaviors of public health nurses as perceived by public health nurses, as well as the personal characteristics of nurses.

**Methods :** A questionnaire on role model behavior and a survey form on personal characteristics were administered to a total of 414 public health nurses working at randomly selected health centers nationwide. Data were collected by postal mail.

**Result :** Among the 278 responses (response rate, 63.0%), 140 responses in which a role model was indicated as “present” and role model behavior was clearly stated were analyzed using Berelson’s content analysis method. A total of 40 categories indicating the role model behavior of public health nurses were identified, including “always understands situations from multiple perspectives, and makes judgments and handles matters calmly and appropriately”, and “recognizes the feelings of patients and their families, and provides close support”. The rate of concordance based on W.A. Scott’s formula was  $\geq 70\%$ , indicating the reliability of the categories.

**Discussion :** Analysis of the 40 categories indicated that the role model behavior of public health nurses revealed eight core characteristics, including “engages in healthcare activities based on regional characteristics while cooperating with other institutions and professions”, and “demonstrates specialized skills and handles problems quickly and appropriately”.

**Conclusion :** The eight characteristics elucidated herein may be indicators of vocational development for public health nurses.

**key words :** public health nurses, role models behaviors, career development